

兵庫医科大学 研究実施のお知らせ

本学で実施しております以下の研究についてお知らせ致します。

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

研究課題名	多種肺炎診断支援臨床実装システムの開発－多施設共同研究 [倫理審査受付番号：第 5259 号]
研究責任者氏名	北島 一宏
研究機関長名	兵庫医科大学長 鈴木 敬一郎
研究期間	2026 年 1 月 20 日～2031 年 3 月 31 日
研究の対象	以下に該当する患者さんを研究対象とします。 疾患名：肺炎 / 診療科名等：呼吸器内科・呼吸器外科 受診日：西暦 2010 年 1 月 1 日～2026 年 1 月 20 日
研究に用いる 試料・情報の種類	<input type="checkbox"/> 試料等 <input checked="" type="checkbox"/> カルテ情報 <input type="checkbox"/> アンケート <input checked="" type="checkbox"/> その他（胸部レントゲン・胸部 CT） 取得の方法： <input checked="" type="checkbox"/> 診療の過程で取得 <input type="checkbox"/> その他（）
研究目的・意義	本研究は、肺炎診断で用いる医用画像（胸部レントゲンと胸部 CT）および各種臨床データの AI 解析により、間質性肺炎を中心としたさまざまな肺炎の総合的な診断を行うためのアルゴリズムの開発、及びこの開発で得られる知見に基づいた、臨床現場で利用可能なシステムの開発を目的としています。 肺炎の読影診断、及び重篤度の診断は臨床的価値が極めて高い一方、胸部を専門とする読影医の人数は限られています。特に間質性肺炎の画像診断は極めて困難な画像診断タスクの 1 つで、医療資源の地域格差が広がる要因となっています。本研究の成果は、医療体制の充実度の改善に資するものです。
研究の方法	まず、肺炎診断を行うための AI アルゴリズムの開発は、近畿大学生物理工部医用工学科において、公開されている臨床データベースや医用画像データベース、本研究の期間中に収集する臨床データ・医用画像データを用いて行います。 次に、兵庫医科大学病院放射線医療センターにて臨床上の必要性から既に撮影された 各種肺炎が疑われた患者さん 1000 症例の胸部レントゲンと胸部 CT の画像データとそれに関連する医学所見データを用いて、近畿大学生物理工

	工部医用工学科において、AI アルゴリズムの性能評価を行います。本研究に用いる患者さんのデータは、個人情報を加工して近畿大学生物理工部医用工学科に提供しますが、患者さんにオプトアウトを実施し、拒否の機会を保障した上で、医用画像（胸部レントゲンと胸部 CT の画像）データと臨床データ（性別、年齢、肺炎のタイプ、肺炎の重症度）を研究に用います。
外部への試料・情報の提供	兵庫医科大学病院放射線医療センターで個人情報を加工した後の臨床データ（医用画像と臨床データ）を DVD に保存し、研究代表施設の近畿大学生物理工学部医用工学科に郵送します。 データセンターへのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、本学の研究責任者が保管・管理します。
研究組織	研究代表者 ・根本充貴（近畿大学 生物理工学部医用工学科・准教授） 研究分担者 ・北島一宏（兵庫医科大学 放射線医療センター・臨床教授） ・児玉大志（兵庫医科大学 放射線医学 講師） ・木島貴志（呼吸器・血液内科学・教授） ・舟木壮一郎（呼吸器外科学・教授） ・永岡 隆（近畿大学 生物理工学部生命情報工学科・准教授） ・木村裕一（近畿大学 情報学部情報学科・教授）
個人情報の取扱い	収集したデータは、誰のデータか分からないように加工した上で、統計的処理を行います。国が定めた「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。
本研究に関する連絡先	診療科名：放射線医療センター 担当者氏名：北島 一宏 [電話] (平日 9~17 時) 0798-45-6883 (上記時間以外) 0798-45-6111